

総合工学委員会

エネルギーと科学・技術に関する分科会（第24期・第8回）

議事録

日時：令和元年12月27日（金）13:00～14:45

場所：日本学術会議 2階 大会議室

出席者：鈴置保雄委員長、山地憲治副委員長、秋元圭吾幹事、疇地宏幹事、朝倉薫委員、伊藤公孝委員、犬竹正明委員、大久保泰邦委員、北川尚美委員、近藤駿介委員、小長井誠委員、齋藤公児委員、笹尾真実子委員、高田保之委員、柘植綾夫委員、日高邦彦委員、藤岡恵子委員、三間罔興委員、矢川元基委員、和田元委員

配布資料：

資料1-1 第6回分科会議事録（確定版）

資料1-2 第7回分科会議事録（案）

資料2 提言（案）長期の温暖化効果ガス大幅削減排出削減に向けた
イノベーションの加速

資料3 提言（案）パワーレーザーによる高エネルギー密度科学の
パラダイムシフト

資料4 報告（案）次世代再生可能エネルギー導入の現状と課題

資料5 熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会議事録

議事

1) 前回議事録の確認

- ・資料1-1に基づき議事録が確認された。
- ・資料1-2に基づきメール審議の議事録の確認がされ、承認された。

2) 提言・報告の審議

- ・秋元幹事より、資料2に基づき、地球温暖化対応の視点からのエネルギー対策・政策検討小委員会がとりまとめた提言（案）が提案された。教育・人材育成について触れる、「体化」などなじみの薄い言葉に注意する、「安定的なエネルギー・気候変動政策の確立」の意図をより明確にする、誰に何を求めるのかを明確に、アカデミアや産業界の責任も明示すべき等の意見が出された。その他の追加意見があれば1月10日までに委員長宛に送付し、提言の修正は幹事団で承認することとなった。
- ・近藤委員より、資料3に基づきパワーレーザーによる高エネルギー密度科学小委員会がとりまとめた提言（案）が提案された。前回の報告との関係、大型

プロジェクトで認められていること、施設整備の提言とするにはより高い説得性が必要、タイトルの「パラダイムシフト」は誤解を受けやすい等の指摘があった。その他、産業界も使える大型施設であることへの賛意が示された。これらの意見を反映した修正は幹事団で承認することとする。

- ・大久保委員より、資料4に基づき次世代再生可能エネルギー導入検討委員会のとりまとめた報告（案）が提案された。小委員会の中での審議を経た上で分科会に再提案することになった。

3) 小委員会の活動報告

- ・藤岡委員より、資料5に基づき、熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会の報告があった。記録あるいは意志の表出を目指す、来期にずれ込む場合は、来期に小委員会を再度立ち上げる。

4) その他

- ・シンポジウム等の学術会議の活動が、広い関心を喚起する方策はないか。社会のための科学を意識すべき、との問題提起があった。

- ・今年度は分科会を開催せず、必要に応じメール審議で対応する。

(以上)